



# 東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016  
東京都江東区東陽 2-2-20  
東京 YMCA 東陽町センター内  
TEL 03-3615-5565 FAX 5578



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2023.10 >

BULLETIN

2023年7月～2024年6月

会長 樋口 順英  
副会長 青木 方枝  
書記 西澤 紘一  
会計 柿沼 敬喜  
監事 柿沼 敬喜  
監査 西澤 紘一  
担当主事 柳原みづき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」  
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」  
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！  
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」  
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」  
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

## 10月 収穫感謝祭

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。全てのことに感謝しなさい。これがキリスト・イエスに会って神があなたに望んでおられるのです。(テサロニケ人への手紙 5章16節～18節)

<すべてのことに感謝する気持ちを持つこと。これがキリストの望みです。>

## 2023年10月例会

日時：2023年10月18日(水) 18:30～20:30

場所：東京 YMCA 東陽町センター

受付：青木メン、進行：佐野メン

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会長
メンバースピーチ	
「日本ポピュラー音楽史」	樋口 順英
各種報告	樋口 会長
YMCA 報告	柳原 主事
ハッピーバースデー	

柿沼澄子、古平邦子、高谷禎宣各メン

閉会点鐘 樋口 会長

★ご出席の方は、10/15迄に青木メンまでご連絡下さい

【例会出席率】 在籍：15名 9月出席率8/13 62%

出席：9月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】 ¥9,000

## 10月はASF 強調月間

ASF は、ワイズメンズクラブ国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事にちなんで命名され、彼のビジョンを受けて1954年に設立されました。

この69年間、ASFは主にYMCAスタッフとYMCAに関わる青少年に奨学金や研修プログラムを提供するため、世界的に、また、各地でYMCAを財政的に支援してきました。ASFは、私たちとYMCAとのパートナーシップを具体的に示すものであり、誇るべきプログラムです。

各区でASFのために集められた金額の30%は、国際ASF 献金として国際本部に送られます。この献金は、世界YMCAと協議の上、YMCAの運動の世界レベルでの特定の目的のためにYMCAに寄付されます。

残りの70%は、各レベルのYMCAからの要請に応じ、YMCAスタッフや各エリアや区のユースリーダーの研修などに活用されています。

ASFの重要性を認識いただき、すべてのエリアと区が昨年以上の貢献をしていただくことを願っています。

(理事通信 10月号より抜粋)

## ◆2023年9月第一例会報告

日時：2023年9月20日(水) 18:30~20:30

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、西澤、根本、柳原、樋口各メ

ゲスト：千代田区立昌平小学校校長 浅岡 寿郎 氏

長尾 昌男メ(関東東部部長・千葉ウエスト)

高田 一彦メ(関東東部書記・千葉ウエスト)

【写真左から、樋口、西澤各メ、浅岡氏、高田、長尾、



柿沼、根本、小仁、青木、佐野各メ】

### ▲ 関東東部部長公式訪問

長尾部長から、今年度活動方針、活動計画につき説明があり、クラブライフの充実と、YMCA と Y'sが協働して、ユースとともに社会課題や地域奉仕に取り組むことをアピールしていただきました。

### ▲ ゲストスピーチ

千代田区立昌平小学校校長 浅岡 寿郎 氏

卓題「特色ある教育の充実をめざして

～課外船上学習への期待」



<卓話主旨>

#### 1. 昌平小学校が取り組む教育

昌平小学校の教育目標は、進んで学ぶ子、思いやりのある子、健康な子を育てることである。

#### 2. 神田川船の会を起点として

小学4年生の生徒には、神田川船の会による「課外船上学習」での体験をもとに、気付き、課題等を話し合い、意欲的に発展させていく場としており、重要なカリキュラムとなっている。

### 3. 社会に開かれた教育課程

神田川船の会による「課外船上学習」のほかにも、「昌平祝太鼓」地域芸能、風土継承への取り組みや企業連携による防災スポーツとプログラミング教育など地域を活かした特色のある教育活動を行っている。

<感想>

我々が長年にわたり取り組んできた課外船上学習が、4年生の教育に重要な役割を果たしてきたことがよくわかり、ますます元気が出ました。

### ▲ Happy BIRTHDAY 記念撮影



【写真左から、浅岡様、樋口、西澤、佐野各メ】

### ▲ 当日の司会進行は、根本メ(写真右)にお願いしました。

青木メのバックアップよろしく、恙なく進行することができました。改めて御礼申し上げます。

(樋口 記)



## ◆千代田区昌平小学校課外船上学習実施報告



今年も千代田区立昌平小学校4年生の学童を対象に、課外船上学習を実施しました。

10月10日(火)、予備日に実施となり、学童は1組25名のみで、午前便一便での船上学習となりました。

当日はポカポカ陽気の秋晴れ、無事に楽しく敢行することができました。船宿三浦屋さんならびに随行された先生方のご尽力に感謝したいと思います。

生徒さんは船上から眺める非日常な景色から、きっとめいめいが新しい気付きや関心を持ったことと思います。これをぜひこれからの勉強に活かしていただきたいと思っています。(参加者：柿沼、樋口、青木各メ) (樋口 記)



## ◆2023年10月第二例会(役員会) および在京ワイズ合同新年会実行委員会報告

日時:2023年10月11日(水) 15:00~17:00

場所:千代田区和泉橋区民館4F B室

出席者:青木,柿沼,小仁,佐野,西澤,目黒,柳原,樋口各メン

### ▲第1部:10月第2例会(役員会)—15:00~16:00

- 1) 10月14日(土)開催予定の「神田川船の会の最終確認」:目黒メン
- 2) 村杉 一榮(ムラスギ カズエ)氏の転入の件は、会則により承認:参加者全員賛成
- 3) 9月30日(土)YVLF 報告(小仁メン)

### ▲第2部:在京ワイズ合同新年会実行委員会

—16:00~17:00

(アドバイザー:東京YMCA総務部長 戸坂昇子様参加)

- 1) 来年1月13日(土)「在京ワイズ新年会」開催時のコロナ感染状況については、データーも少なく、予想がつかない。(目黒メン)
- 2) クラブとしては状況を観ながら防戦対策を立案して「在京ワイズ合同新年会ホストクラブ」の実施を目指す。
- 3) 下記にて、早急に開催案内第一報を出す。
  - 日時:2024年1月13日(土)13:30~16:30
  - 会場:東京YMCA 東陽町センター1F および1F カフェテリア室(旧視聴覚室)
  - 参加費(目安):¥3,000~¥4,000/人程度(軽食と飲み物付き)
- 4) アトラクション:「アンディムジーク」ミニコンサート  
ピアノ 山影桂子、ソプラノ 古正美知子、他  
役割分担案を協議、クラブ全員の協力をお願いします。  
(柿沼・樋口 記)

## ◆今後の主なスケジュール

- ① 10月14日(土) 第88回神田川船の会
- ② 10月18日(水) 10月例会18:30~(東陽町)
- ③ 10月28日(土) 関東東部部大会(船橋)
- ④ 11月 8日(水) 11月役員会
- ⑤ 11月16日(木) 11月合同例会18:30~(東陽町)
- ⑥ 11月18日(土) 関東東部評議会
- ⑦ 11月25日(土) 関東東部 Y's/YMCA 協議会(Z)
- ⑧ 11月26日(日) 熱海クラブ60周年記念例会(熱海)
- ⑨ 12月10日(日) クリスマスオープンハウス(東陽町)
- ⑩ 12月13日(水) 12月役員会
- ⑪ 12月20日(水) 12月クリスマス例会

## ◆2023年10月第一例会卓話のおしらせ 「日本のポピュラー音楽史」

私たちの世代は小学生から中学にかけて洋楽を聴くようになりました。

当時TV、ラジオから聴こえてきた洋楽を思い出しながら、自分なりの戦後日本のポピュラー音楽(歌謡曲、ポップス、ロカビリーなど)のうつりかわりをお話します。

例会日時:2023年10月18日(水)18:30~20:30

場所:東陽町コミュニティーセンター

講師:樋口 順英

卓題:「日本のポピュラー音楽史」

みなさま、多くの方々のご来場をお待ちいたします。

★お弁当注文の都合上、ご出席の方は10/15までに青木までご連絡ください。

## ◆インターナショナル・チャリティラン報告

9月23日(土)チャリティランが4年ぶりに木場公園に帰ってきました!



心配していた雨模様の始まりでしたが、駅伝競技が始まる頃には雨もあがりました。

小雨がぱらぱら降っているなかではありましたが、賑やかな声と共に子どもランがスタート!数年ぶりに沢山の子どもたちの元気に走り回っている姿をみて嬉しくなりました。

実行委員長青木ワイズのYMCA 東陽町センター「TEAM 東陽町」のランナーに向けて激励の言葉をかけてくださり、だんだん盛り上がっていき競技がスタート!

男5名女1名の混合チームの若い躍動感溢れる走りが速かったです!

最終結果は参加38チーム中5位に入賞!そして、三菱商事の「Dream as one」特別賞までいただき、素晴らしかったですね!来年は天気になりますように。

(小仁 記)

\*\*\*\*\*

## ◆23/24年度会費振込のおねがい

振込み口座は下記でお願いいたします。

京葉銀行 こてはし台支店(普通)3856346

カキヌマ ケイキ名義

\*\*\*\*\*

# フリテン図書館

## 「汝 星のごとく」

風良ゆう 著 講談社(2023)

23 年度本屋大賞に選ばれた風良ゆうの最新作である。



「汝 星のごとく」は、2 人の若者、青埜權と井上暁海の 17 歳から 32 歳までの愛の物語である。時代別に、權と暁海それぞれのモノローグ形式で進行する。読者は、2 人の世界に入り込み、どうしてそうなるのと問いつつ、彼らの愛の成就を期待する。

瀬戸内の小さな島で暮らしていた暁海の父は、愛人宅に入りびたりしており、

孤独な母は絶えず怒りに満ちていた。一方の權は、母子家庭の長男として京都で暮らしていた。いずれも母親との葛藤の中で、いわゆるヤングケアラーとして、心ならずも母親の面倒を見ている。權と母親が、新天地を求めて、暁海の住む島に転居してきたことからこの物語が始まる。そして權と暁海は、島の高校に通うことになる。よく似た運命に振り回されていた 2 人はすぐに親しくなった。とある日、暁海が父を奪った愛人宅に苦情を言いに行く時に、權を引っ張り出した。父の愛人瞳子は想像とは異なり理知的なプロの刺繍家であった。

やがて權は卒業を期に東京に出る。それまで趣味としていた漫画の原作をネットに流していたが、やがて天才画家の尚人と知り合いになる。權のストーリーは、尚人の絵と相性が良く、彼らの作品がプロの漫画雑誌の編集者植木の目に留まる。やがて、權は、尚人、植木と組んで、漫画雑誌のメインを占める人気作家となり多額の印税を稼ぐ身となった。まさに田舎出の凡庸な若者の成功物語である。今まで馬鹿にしていた周りの大人たち(母親も)が、ペコペコする姿は滑稽でさえある。一方の暁海は、父の愛人であった瞳子に師事して刺繍で身を立てる決心をする。漫画家として成功してゆく權との間もやがて隙間風が吹き始め、權から黙って身を引いてしまう。しかし、「好事、魔多し」とよく言われるが、ある日、尚人がゲイであることが露見する。しかも、尚人が恋人として付き合い合っていた男の子の家人から、わいせつ行為として糾弾される。これを期に、流行漫画作家としての權は失脚してゆく。その後は、生きがいを無くして無為な生活に陥る。毎日酒におぼれ、やがて貯金も底をつき、その上、無理が祟って胃がんと診断される。その後の 2 人は、原点に戻り、目いっぱい生きる様子がいじらしくて感動する。

ヤングケアラー、母子家庭、父親蒸発、ゲイ、ネット炎上、女子の経済的自立、新興宗教、流行作家、医療保護など現在の課題がストーリーの中に見事にはめ込まれていて、リアリティを感じる。一読を勧めたい小説である。

(西澤 記)

# YMCA コーナー

1. 8 月にハワイ・マウイ島で発生した大規模な山火事の被災者支援のため、「**ハワイ・マウイ島山火事緊急支援募金**」が 12 月末を期限に開始した。募金はマウイ・ファミリー YMCA を通して、同 YMCA が行う施設や宿泊場所の提供、子どもたちのキャンプやキッズプログラム他、被災者の生活再建支援に用いられる。
2. 「**第 26 回会員芸術祭**」は今年もオンライン芸術祭として開催し、東京 YMCA の HP 上に 9~10 月の 2 カ月にわたり作品を掲載している。会員、職員他、東京 YMCA の各施設(児童館、学童クラブ、にほんご学院、高等学院、山手書道教室他)からも出展があり、絵画、写真、陶芸、工作、書道など、85 点の多彩な作品が集まった。
3. 今年、山中湖センターが開設 100 周年になるのを記念し、「**東京 YMCA 山中湖センター 100 周年記念募金**」を行う。10 月 1 日からクラウドファンディングを、11 月からは口座振込等による募金受付を開始する。目標額は 2,000 万円とし、貧困等によりキャンプに参加できない子どもたち 100 人をキャンプに招待するプロジェクト、プログラム施設の新社、宿泊施設のリノベーションに用いる。
4. 9 月 15 日~20 日の日程で、「**第 21 回アジア・太平洋 YMCA 大会**」がインド・チェンナイで開催され、日本からは 45 名(うち東京 YMCA からは職員 4 名)が参加した。「回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030 を通しての生き方の変革」をテーマに、基調講演やディスカッションがもたれた。また大会前には、はじめての「ジェンダーフォーラム」、及び 35 歳以下のユースを対象とした「ユース・アセンブリー」も実施された。
5. 今後の主な行事日程
  - 1) 「山中湖センター 100 周年記念チャリティーコンサート」  
10 月 20 日 会場: 日本基督教団霊南坂教会  
出演: 飯靖子氏・飯頭氏・高等学院生徒 他
  - 2) 「ソウル・台北・東京 YMCA 指導者協議会」  
11 月 6 日~8 日 会場: 台北 YMCA  
テーマ: 「神の視点と聖書の知恵から現在の経済状況に向き合う」
  - 3) 「YMCA・YWCA 合同祈禱週礼拝」  
11 月 16 日 会場: 山手センター  
メッセージ: 李省展(イ ソンジョン)氏(恵泉女学園大学名誉教授)

(クラブ担当主事: 柳原)